



**KUBC PRESS**

*November 2021*

***Theme : Nostalgia***

# Table of Contents

日常のふるさと感（？） あらい

メロンパンれぼ ずもさん

郷愁の地 Field

童心に帰ろう！ ずもさん

## —朗読・声劇台本—

おじさんと僕 ずもさん

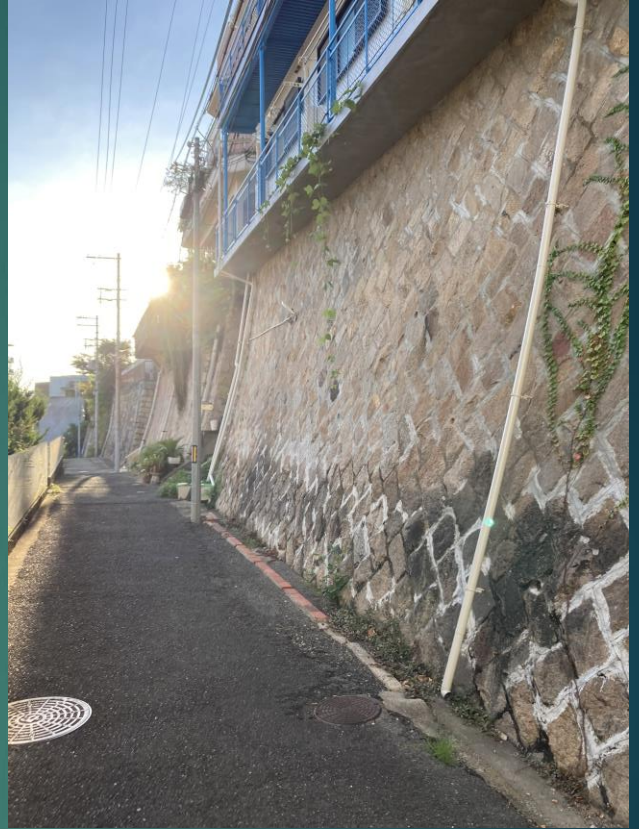
登山 よせなべ

哀れな男 Field

突然ゲームの世界になったら  
こんな感じ あらい



# 日常のふるさと感(?)



ということで、僕のスマホに入っていた  
適当な画像から  
なんかそれっぽいやつを4枚選びまして  
載せてみました。  
左上から時計回りに  
有馬、六甲、実家付近、三宮で撮った物のはずです。

ところで、  
ノスタルジックって  
なんでしょうね。  
とりあえず検索して  
出てきた画像がこれ→  
なんですけども。



もちろん僕のふるさとにこんなもんありません。

掲載した実家付近以外の三枚の写真も、  
やはり僕のふるさととはだいぶ違います。

でもなぜかそれっぽさを感じてしまうのは  
一体何故なのでしょうね？

恐らくさまざまな芸術とかアニメとかに触れて  
自分の中に成型されてしまった物でしょうが、

それがなかった場合、僕はどんな物に  
懐かしさを感じることになるのでしょうか。

謎は深まるばかりです...





# メロンパンれぽ



「食欲の秋」といいますが、筆者は年中どの季節でも食欲旺盛。前回はプリンの食べ比べをしましたが（KUBC PRESS 7月号参照）、今回はメロンパンの食べ比べをしました。食べ比べ最高！ 美味しいって最高！

## <★5つ評価について>

甘さ………★が多いほど甘い。  
サクサク…★が多いほどサクサク。  
しっとり…★が多いほどしっとり。  
コスパ……★が多いほどコスパ良し。  
※筆者の主観が評価に大きく影響を与えています。  
※価格は2021年9月・10月現在のものです。

## メロンペストリーバター



## \*好き好きポイント\*

内側がデニッシュ生地になっていてしっとり。表面にまぶせられた繊細な砂糖の食感がよき。バターの風味がしっかりしてて、香ばしい！

## 大きなメロンパン



製造会社：山崎製パン  
 本体価格：110円くらい  
 甘さ★★★★☆  
 サクサク★★★★☆  
 しっとり★★★★☆  
 コスパ★★★★★



### \*好き好きポイント\*

意外に甘さが控えめ。パン自体、バターがきいているからか少し塩味があるため、表面のクッキー生地 of 甘さが際立って美味。大きいけど重たくないのでぱくぱくいける。

## ファミマ・ザ・メロンパン



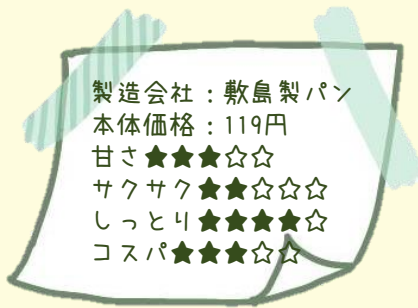
製造会社：敷島製パン  
 本体価格：110円  
 甘さ★★★★☆  
 サクサク★★★☆☆  
 しっとり★★★★☆  
 コスパ★★★★☆



### \*好き好きポイント\*

甘めだけど味のバランスがいい。メロンパン特有の爽やかな香りが鼻を通る。余計なものが入っていない感じのあっさりした美味しさ。安定感ある。

## サクふわっメロンパン



### \*好き好きポイント\*

確かにパンがふわっとしてる。バターの塩味がしっかり感じられて、クッキー生地 of 甘さと相まって美味。あとパッケージデザインがかわいい。

## サククリメロンパン



### \*好き好きポイント\*

体に染み渡る甘さ。周縁のクッキー生地がサクサクホロホロで美味しい。きめ細かい砂糖の食感があるのもよき。

## はいから京風メロン こしあん&チーズクリーム



製造会社：山ーパン総本店  
本体価格：129円  
甘さ★★★★☆  
サクサク★☆☆☆☆  
しっとり★★★★★  
コスパ★★★★☆



### \*好き好きポイント\*

表面がサクサクじゃなくて、全体的にしっとり。  
中にこしあんとチーズクリームが入っているので、  
メロンパンなのにメロンパンって感じがしない  
…! しっとりやわらかくて美味しい。和洋折衷な  
味わいで良きです。

## やさしい甘さのメロンパン



製造会社：エフベーカ  
リーコーポレーション  
本体価格：110円  
甘さ★★★★★  
サクサク★☆☆☆☆  
しっとり★★★★☆  
コスパ★★★★☆

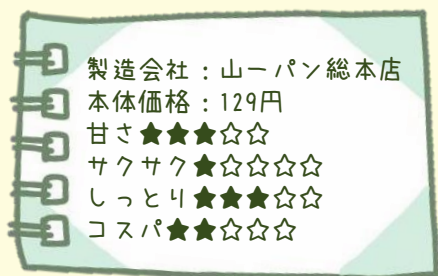


### \*好き好きポイント\*

「やさしい甘さ」って書いてあるけど、結構甘い。クッ  
キー生地はしっとりしていて、砂糖の粒の食感あり。疲  
れたときに食べたら沁みるやつだと思う。バターとかメ  
ロンの香りは控えめで、純粹に甘さが際立っている感じ。



## 京風メロン 白あん入り



### \*好き好きポイント\*

他のメロンパンに比べると、甘さは控えめ。  
黒糖かカラメルかわからないけれど、なんか香ばしい。中に入っている白餡がしっとりしててやわらかい甘さで美味しい。  
なんか懐かしい感じのお味。

いかがでしたでしょうか。

メロンパンが食べたくなくなってませんか？笑

記事作成という名目でたくさんメロンパンを買い込んで美味しさに浸ることができ、筆者はとても満足しております。

メロンパンを食べると何だか懐かしい気持ちになるのが不思議です。



記事作成を通して感じたのですが、食べ物が美味しそうに見えるように写真を撮るのがとても難しい…！

撮影スキル低レベルの筆者が撮った写真よりも、実際はもっと美味しそうな見た目をしています。それに、いい匂いもしています。それが皆さんに伝わるくらいの撮影スキルが欲しかったです。

ともあれ、気になったものがあればぜひ食べてみてください。  
美味しく食べればカロリーゼロ！

## 郷愁の地

「またか」

何度目かのため息。

目の前に広がる景色に、何の感動も覚えない自分がいる。

湧き上がるのは、疑問、不満、諦観。

様々な感情が、絵の具のように混ざりあっていく。

私には、「郷愁」という情が分からない。

過去のことを慈しむ気持ちが、いつしかなくなっていた。

「故郷」を訪れても、生まれるのはそこに対する愛情や懐旧ではなく、

「自分が暮らしていた」という事実のみ。

人が「懐かしい」と思うような状況において、私はいつも、

他人の人生の記録を見せられているような感覚に陥る。

そんな私に「郷愁の地」が存在しないのは、言うまでもない。

そして、この欠落がまともなものでないと気付いたのは、最近。

以来私は、どこかに落とした感情を探し出す旅をしている。

けれど、目当てのものはなかなか見つからない。

—この旅も、終わりが近いのだろうか。

「故郷」と言える場所をめぐり始めて、どれほど経っただろうか。

「お前にふるさとはない」と、誰かの声がする。自分の声だろうか。

心の中から聞こえたその声に、私は返す。

「じゃあ、私はまともじゃないの」

声はそれ以上聞こえなかった。

どこかに、私の居場所はあるはずだ。祈りにも似た想い。

それが過去、未来、どちらにあるかは知らないけれど。

あるいは、この旅そのものが。

私をまともでいさせてくれる唯一の瞬間なのかもしれない。

# 童心に帰ろう！

インターンや自己分析など、就活関連で心が疲れてしまった筆者。  
そうだ、こういうときは現実逃h…気分転換だ！！  
ということで、みなさん私と一緒に童心に帰りましょう。  
このページでは、子ども心への帰還ルートをいろいろとご紹介します。

## 帰還ルート① けん玉で遊ぶ。

実家暮らしのあなたは特に注目！！どこかの筆筒か引き出しに眠っていませんか？

なんとなくやり始めてみるとついつい夢中になってしまう、おそろしく面白いおもちゃだと思います。



## 帰還ルート② 人形orぬいぐるみで癒される。

かわいいは正義。愛らしさって最高。  
自分のお気に入りのぬいぐるみを眺めれば、心が浄化されて子どもの心に近づきます。  
ぬいぐるみの服を作ってあげるのも楽しい。



### 帰還ルート③ ガチャガチャ



た、楽しい…。お目当てのものが出るまで回す筆者。破産。でも後悔はしてません。  
個人的に今ハマってるのは「つぶらな瞳」シリーズです→



### 帰還ルート④ 自分が過去に使ってた自由帳を眺める。



自由帳を開くと、よくわからん絵がたくさん。  
下手くそだけどなんか憎めない絵。  
見てると悩んでたこととかがどうでもよくなってきます。



### 帰還ルート⑤ 過去に貰った手紙を読む。

小学生くらいの頃に友達から貰った手紙を読み返したら、微笑ましくてあったかい気持ちになりました。というか、泣けてくる時があります。  
もう、尊い領域です。  
手紙パワーで童心に帰りましょう。





## 帰還ルート⑥ アニメ！

アニメって素晴らしい不是吗？  
何歳になっても見ていたい。たまに  
突っ込みどころ満載なやつもあるけど、  
それもひっくるめてアニメは良き良き  
なんですよ。



## 帰還ルート⑦ 駄菓子！

駄菓子ってわくわくしますよね。  
あたり付きのやつとか、うま〇棒とか  
めっちゃ買ってた記憶があります。  
あのころはお小遣いのやりくりを真剣に  
考えてたな。



以上、子ども心へ帰るルートをご紹介しました。  
記事を書いていると、子どもの頃に戻りたいな……と  
いう気持ちになりました。余計なことを考えないで、  
無邪気な心で遊びまわりたいです。

どんどん大人になっていくし、大人になることを止め  
ることはできない。でも、子ども心はいつになっても  
忘れないでいたい。そんな筆者は、今日も現実とu……  
気分転換して童心に帰ります。

# 編集後記

表紙

日が沈む前の  
グラデーションの空が好きです。

ずもさん

日常のふるさと感（？）

だんだん色々外出できそうな雰囲気に  
なりつつありますね。嬉しいです。

あらい

メロンパンれぼ

美味しいって、しあわせ。

ずもさん

郷愁の地

「地元愛」が持てない自分の気持ちを  
デフォルメして書きました

Field

童心に帰ろう！

子ども心を大切にしたいです。

ずもさん



次のページからは、2021年度オンライン  
KoSの朗読・声劇企画で用いた台本を掲載  
しています。  
フリーペーパー部員3名と、アナウンス部  
員1名が企画のために書き下ろしました。  
ぜひお楽しみください！

～KoSって？～

KUBCが運営している企画ステージのこと。  
各種パフォーマンスやクイズ大会など、  
様々なイベントを行っています。今年は昨  
年同様、オンライン上で開催します！



# 『おじさんと僕』

作：ずもさん

僕は、いわゆる「居候」ってやつだと思う。

定年退職したおじさんのおうちで暮らし、毎日、悠々自適な生活をしている。

おじさんは、僕にとってもよくしてくれる。美味しいご飯を用意してくれるし、僕の知らないいろいろな話を聞かせてくれる。おじさんの住むマンションの一室は、南向きに窓がついている。その窓から差し込む陽の光を受けながら外の景色を眺めるのが、僕の日課だ。

あるとき僕は、おじさんが部屋で静かに涙を流しているのを見た。

おじさんは、額縁におさめられたひとりの女性の写真を見つめていた。

世間知らずな僕にもわかった。あれは、亡くなった人の写真だ。

それ以来、僕は何度か彼が写真を見ながら泣いている様子を目にした。

そのたびに僕は悲しい気持ちになって、自分に何かできることはないかと考えた。

励ましの言葉はいくつか思いついたけれど、どれもありがたくなものばかりだった。

何より問題だったのは、僕には思いを言葉で伝える術がないということだった。



おじさんは、マンションの近くの公園で僕を拾ってくれた。  
あのとき僕は、瀕死の状態だった。

子どもたちの好奇心は恐ろしい。  
僕は根っこから引き抜かれ、砂場に連行され、おままごとの道具にされた。  
子どもは僕をもとの花壇に植え直すことはなく、僕を砂場に残して帰っていった。

僕は喉が渇いて、孤独で、悲しかった。

その翌朝、散歩していたおじさんが僕を見つけた。  
僕を自宅に連れていき、植木鉢に植えて、十分な水を与えてくれた。

窓から差し込む陽の光を受けて、僕はとても幸せな、あたたかい気持ちになった。

命の恩人である彼のために、僕は何かができるだろう。

……そうだ。  
僕にできることはこれしかない。

今、僕のからだには、ひとつだけ蕾ができています。  
この蕾を咲かせたら、綺麗な花を咲かせることができたなら、あの人を笑顔にできるんじゃないか。

僕は決心した。そして、窓から差し込む陽の光を充分に受けるべく、葉を広げた。

待ってて、おじさん。  
とびきり美しい花を咲かせるから。

# 『登山』

作：よせなべ

「現在大学生の間で朝活が流行しているそうです。」

テレビの向こうでレポーターが話している声が、右から左へ通り過ぎる。

通学時間が無くなった大学生が、朝ごはんをゆっくり作ったり資格勉強に活かしたりしているらしい。

そんな人も世の中にいるのか、いやそんな奴本当にいるのかよ、とぼやきながらトーストを咥えパジャマのままでZOOMを開く。

世の中の大学生の大半は自分と同じ生活を送っている気がする。

通学していた時と変わらない慌ただしい朝。

僕の場合、登山、と称される通学をしていた時間は睡眠に消えた。

ふと、「街まるごと封鎖するって、映画みたいじゃん。」と異国の状況を話していた彼女のことを思い出した。

あの頃は彼女も僕も自分がその映画の登場人物になるなんて想像さえしていなかった。

「事実は小説よりも奇なり」とはよく言ったものだ。現実映画ほど簡単に解決も完結もしないらしい。

彼女は元気になっているだろうか。動物と森を開拓するゲーム派だろうか。フィットネスに勤しむ派だろうか。

アイドルを応援していた彼女の、あのオーディション番組への反応も気になる。

「この状況で、本当に会いたい人とは連絡を取らなくなりましたね。」

と、表面的な関係性からの解放を喜んでいた人がいたが、僕には全く当てはまらない。

僕は、本当に会いたい人の連絡先を知らないのだ。

2年前彼女はパートナーがいなかったと言っていたけれど、この長い月日は状況を大きく変えてしまっただろう。

あの時連絡先を聞けなかった自分を呪うしかない。

次に彼女と会う時に、と決めていた誘い文句を口の中で転がしてみる。

「良かったら一緒に下山しない？」

# 『哀れな男』

作：Field

「早まるな！」

突如耳に入った声で顔を上げた。このところ、俯きながら歩くのが癖になっている。視線を道に移したままでも、通行人とぶつからない程度にはこの歩き方に慣れてしまった。

目の前には、何やら大勢の人々が集まっている。群がっている、と言った方が正しいか。十代の学生から六十近くの爺さんまで様々だが、揃いも揃って上を見上げている。何となく何が行われているかは想像がついたが、彼らの視線を追ってみた。

視線の先には、テナント募集を訴える看板のついたビル、そしてビルの屋上に立つ一人の男がいた。

男は屋上の縁にある手すりを乗り越え、手すりを掴みながら僅かない足場に立っている。まあ要するに、飛び降りようとしているわけだ。およそビル五階の位置にいる男はスーツを着ていた。見たところ、仕事に嫌気がさして自殺でも考えたか。

こういった飛び降り騒ぎが起こるというのは知識として知っていたが、実際に遭遇するのは初めてだ。見物するほど暇ではなかったが、無視するわけにもいかず、足を止めていた。周りの連中もおおかたそんな具合だろう。

「降りてきなさい！」

近くにいた四十ぐらいの男が叫んだ。

隣には妻と思しき女と、女に抱えられた赤ん坊。赤ん坊にこの光景を見せまいとして、女は赤ん坊を抱いたままビルに背を向けている。

「うるせえ！そんなに降りてほしけりゃ今すぐ飛び降りてやろうか！」

屋上の男の反応に、さっきの四十の男を含む地上の野次馬たちがどよめく。どうやら男の気迫に、本気で自殺しようとしている雰囲気を感じ取ったようだ。

「待て、そういうことじゃない、考え直せと言ってるんだ！」  
四十の男が慌てて応じる。その声で周囲のどよめきが静まった。

知らず知らずのうちに、この男が野次馬の中心的存在になっているようだった。

「黙れ！お前に俺の何が分かる！」

屋上の男がさっきよりも勢いよく叫ぶ。

「もちろん君に何があったかは私には分からない、しかしその選択は早合点が過ぎる！」

ふと野次馬の方を見ると、その中にスマホを屋上に向けている若い男女がいた。さしずめSNSにでも投稿するための動画撮影だろう。この状況において理解できない反応ではないが、見ていて気分のいい行動ではなかった。

「…俺はもう嫌なんだよ！あんなクソみたいな上司に頭下げながら、やっすい給料で働くなんてのは！」

屋上の男が急に語り始めた。こういう時に自分語りをする奴がいるというのは本当だったのかと少し感心する。

「あの野郎に復讐するためにも、こうするしかないんだよ！」



男の告白と共に、野次馬どもに緊張が広がる。

「…君が辛いのは理解できる、それでも、その手段はダメだ！」  
妻子持ちの四十の男が再び説得を開始した。すると同時に、黙りこくっていた野次馬のうちの数人が「そうだ」「やめろよ」と同調し始める。

「復讐するなら、もっと相手に思い知らせるやり方じゃないとダメだ、君が死んでもその上司は、きっとなんとも感じない！」

「やり直せるよ！」「死んじゃダメだ！」同調の声が徐々に大きくなり、広がっていく。

「うるせえっ！！」

屋上の男が、ひと際大きな怒声で地上の声をかき消した。

その怒鳴り声には、ほんの僅かに迷いと焦りが感じられた。十秒ほど、あたりには静寂が訪れた。

「…今さら引き下がれないんだよ」

ぽつりとした男の呟きが、はっきりと地上に聞こえてきた。

瞬間、屋上の男は手すりから手を離し、前方に倒れ込んだ。真逆さまに、男が落ちてくる。さっきまでの群衆の声援は容易に悲鳴に変わり、何人かは目をそらした。

そんな中俺は、男が頭から落ちるさまをじっと見ていた。その先に何が起きるか、どんな光景が視界に映るか分かっていて、しかもそれは本来なら目を背けたくなるようなもののなのに、俺は目を離せなかった。

野次馬から安堵の声が漏れ、説得していた男の連れていた赤ん坊が泣き始めた。どうやら、すぐ近くに消防署があり、騒ぎを聞いて駆け付けたようだ。群がる人々から、間一髪だったな、などという声が聞こえる。救助された男の方を見ると、男は腕を額に乗せて、薄く笑っていた。自嘲したような笑みに見えた。

興ざめた俺は、哀れな男が死に損ねたビルを離れた。

——俺にはわかる。あの男は元から死ぬ気はなかったのだ。本当に死にたい人間は、あんな風に人目の着くところで飛び降りなんてしないし、地上5階なんて不確実な高さを選ばない。結局奴は、自分が辛い目に遭って死のうとしているのを、他人に気にかけて、止めてほしかっただけなのだ。くだらない。

それでもあの男は、自分に気づいてくれる人間がいただけ幸せ者だろう。本当に救われないのは、誰にも気づかれずひっそりと死んでいくような奴だ。

「俺みたいに、な」

そう言う俺は、高層マンションの屋上の手すりを飛び越えた後、しっかりと頭を下にして、誰にも止められることなく地面へと落ちていった。

# 『突然ゲームの世界になったらこんな感じ』

作：あらい

黒：俺

赤：店員

青：老人

緑：凜ちゃん

ふわーあ。もう昼過ぎか。流石に起きよう。休日だけだな。

さて、なんか食うもんはあったかな…あれ、何もないな。しゃあない。コンビニ行こ。

あれ、この辺にコンビニあったはずなんだけどな。なくなってるぞ。てか今まで気づかなかったが、建物の数急に減ってないか？場所間違えたかな？俺。

いや、こんな近場で間違えるとかないな…。

なんだかんだ家からだいぶ歩いてきたのに、店もぽっと見屋台が2・3軒あるだけだぞ…。

…まあ流石に飯くらい買えるよな。

すいませーん。

いらっしやい！お買い物ですね！

うわっ。そんな元気良い対応されたの久しぶりなんだが。

なにをお求めですか？

そうねえ、しゃけおにぎりとお〜いお茶ある？

えーっと…？おにぎり？ですか？

そうだけど？

すいません。ちょっとそれわからないです…。

はい？

うちではたぶん置いてないですね…。

マジ？

それに他のところでも置いてないん

じゃないですかね。たぶん…。

他のところにもない？じゃあ何置いてるわけ？この辺の店では。

そうですね～、うちではたいまつ、古びたけん、いいぬりぐすりなんかを取り扱ってますよ。

なんでそんなドンキにすらなさそうなんもん置いてんの？え、飯は？食べ物？

そんなもの、私たちなくなたって大丈夫じゃないですか。

本気で言ってる？仙人かなにかですか？。

実際お客さんだってそうじゃないんですか？

俺は飯は食うよ。普通に。逆にお姉さんは飯食わんの？

ふ～ん。珍しい方ですね。私は生まれてこの方、何か食べたいとか思ったことないですし…

そんなことあるもんかね…そっちの方がよっぽど珍しいでしょ…

でも確かに言われてみると別に今日俺なんか全然腹減ってないんだよね…。

そうでしょう。それで、他には何かお求めですか？

う～ん。何も買ってかないのも悪い気がするし…

それじゃあいいぬりぐすり？を一つくれよ。

はい。一つ500円になりまーす。

意外と高いんだな。あとこれどういう時に使えるんだ？

体力が減った時に使って頂くと、結構回復できますよ。

ふーん。便利なもんだな。今度疲れたときにでも使ってみようかな。それじゃ。

はい。ありがとうございました。またのおこしを！

正直古びたけんとかの方が興味あったかも…まあいいや。

今日休日だし、凜ちゃんと遊ぼうかな。あいつは筋トレ好きだから休日の今頃はジムにいると思うんだけど…なんにせよ地形だいぶ変わってるし…場所誰かに聞いてみんとな。

すいませーん。

なに？秘伝の技を教わりにきたのか？

そんなもん教わりません。道を尋ねたいんですけど。

なら、また力をつけたときにくるがよい。

いやそうじゃなくて、道を尋ねたいんですけど？

なに？秘伝の技を教わりにきたのか？

えーっと…ジムってどこにあります！？

なら、また力をつけたときにくるがよい。

話にならんこれは…。

さっきから屋台の人に何人か話しかけてみたものの…大概こんな感じなんだが？いつから俺らは同じ言葉を連呼するしかできなくなっちゃったんでしょう。てかそう考えるとさっきのお姉さんレアすぎじゃないか…？

あ！いた！

ん？あ、凜ちゃんじゃん。さがしてたZ…

あんた何してたの？さあ、行くよ！

え？どこに？

いいから行くよ！

ええ～？ちょっ…

それで…おれはなんでこんなところにつれてこられたんだろうね？

どこって…ただの洞窟じゃない？

「ただの」ね…いやまあそりゃそうなんだけどさ…

あんた弱いんだからここで鍛えるのよ。

弱い…？そりゃ弱いでしょうけど…。

てかいまいち今日の状況がつかめんわ…。で、なに？ここで筋トレすりゃいいんですか？

違うわよ。モンスター倒すのよ。

筋肉だけではなくて頭もモンスターになったか？そんなんいるとお思いですか？

見なさいよ。あそこにいんじゃない。ほら。

ああ、あれ？…ネコに毛が生えたみたいなきき物いるけど…。

ネコにはもともと毛生えてるでしょ。

そういうことじゃねえよ！

まあいい。とにかく、そうね…今日はあのくらのを5体ほど倒してもらうわよ。

なに？おれがか？

他に誰かいるの？

マジか…やっぱ古びたけん買っとけば良かったかもしれん…。

てか状況ちょっと分かってきた気がするぞ…？

さあ、私も行くからついてきなさい！用意はいい？

い！用意はいい？

ん？なんだこの四角形は。『はいいいえ』？

そりゃいいえ一択でしょ。『いいえ』。

なに言ってるのよ。さっさと行くよ。用意はいい？

『いいえ』

なに？まさかびびってんの？用意はいい？

あー…実質一択のやつか…。よくあるよくある。…はあ。

『はい』

よし。じゃあ早速あいつから倒してみなさい！

おれは丸腰だぞ！まずせめてお前からやってみせてくれよ…！

ふん。この程度こんなもんよ！おりゃ！おりゃあ！

おお…出来んのかよ…

ってか…。

いつになったら元に戻れるんでしょうね…？



# 選挙に行こう！

## 投票って意思表示だ！

みなさんご存知の通り、選挙権年齢が20歳以上から18歳以上になり、大学生はみんな選挙権を持つことになりました。

「政治ってなんか遠いし私には関係ないかな」  
「別に自分が投票しなくても何も変わらないでしょ」

こんな風に思っていないですか？  
でも、意外とそんなことはないんです。

若者世代の投票率が低くなると、日本の政治に若者の意見が反映されなくなってしまう。

若い世代のみなさんが気持ちよく過ごせるような社会にするためにも、選挙に参加することはとても重要なのです。

## 住民票について

大学生になって一人暮らしを始めた人も多いのではないのでしょうか。

原則、現在住んでいるところが現住所になるため、引っ越しをしたら住民票を移す必要があります。

選挙人名簿登録や、新住所地で行政サービスを受けるために、住民票を新住所地に移しましょう。

## 転出・転入の手続きについて

転入・転出の手続きは難しくありません。

まず引っ越し前の市区町村で転出届を提出し、「転出証明書」を受け取ります。

そして、引っ越し後の市区町村で転入した日から14日以内に転出証明書を添えて「転出届」を提出します。

なお、転出届を提出する際には、マイナンバーの「通知カード」や「マイナンバーカード（個人番号カード）」の記載事項の変更が必要ですので、これらのカードをお持ちください。

## 投票の仕方

＜実家住みの場合、住民票を移している場合＞

投票日が近づくと世帯ごとに届く「投票のご案内」を指定の投票所に持っていけば投票できます。

＜住民票を移していない場合＞

自分の住民票のある市町村のHPから「不在者投票請求書（兼宣誓書）」をダウンロードしてその市町村に郵送、届いた投票用紙を近くの区選挙管理委員会に持っていき投票します。

投票日当日に投票に行けない場合は、**期日前投票制度**を利用しましょう。